

「日本再生のための戦略に向けて」(案) について

2011年8月3日
株式会社三菱総合研究所
理事長 小宮山 宏

1. 我が国の国家目標

「日本再生に向けた戦略の方針」では、エネルギー・環境戦略や空洞化防止など重要な課題について具体的な方針が示されているが、この前に、我が国がどういう国を目指すのかという大きな目標を掲げることが必要ではないか。

例えば、国家目標として2050年の我が国の自給率を70%にするということを掲げてはどうか。水の自給率は100%であるが、2050年までにエネルギー、鉱物資源、食料の自給率を70%に、木材資源の自給率を100%にするという目標を掲げることを提案したい。

水、食料、木材、鉱物、エネルギーは生活の物的基盤であり、70%の自給率があれば、非常時には多少の節約で対処可能な強い国になれる。安全保障、安全安心の物的基盤である自給率を国家目標として掲げるべきであろう。

2. ICT活用の位置づけ

日本は国際的にみてICTの社会での活用が遅れている。産業競争力向上や地域医療提供体制の整備のための情報通信技術など、個別戦略の技術としては示されているが、他にも電力システム改革、農林水産業の効率化、行政の効率化などICTの活用範囲は非常に広範であり、日本の課題を解決する上で重要な鍵となると思われる。したがってICTの活用を日本再生のための大きな戦略として位置づけてはどうか。

以上